

Ⅱ 第二次福山市教育振興基本計画の実施状況

1 就学前教育

基本目標 質の高い就学前教育の推進

基本施策1 教育・保育の質の向上

状況	<p>2018年（平成30年）に市内の全ての幼稚園・保育所等に配付した「福山市教育・保育カリキュラム」に基づき、保育実践を行った。新型コロナウイルス感染拡大を受けてこれまでの保育内容や行事のあり方について、見直す機会となり、遊びを通した学びについて、各保育施設で検討した。子ども主体の学びや育ちを保障し、保育・教育の専門性を高めるための研修を感染拡大に考慮しながら一部変更して実施した。</p> <p>2012年（平成24年）から2018年（平成30年）まで7年間にわたり、福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する保幼小合同研究を継続して実施してきた。これを受け、各学区で幼保小連携※・接続を進めている。</p>
主な取組	<p>(1) 生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実</p> <p>(2) 認定こども園※の整備</p>

[評価]

おおむね 順調	<p>小学校区で幼保小連携協議会を組織し、接続期カリキュラムを基に就学前施設と小学校間で交流・連携が行われている学区が増えた。</p>
------------	---

[基本施策に関する指標（数値目標）]

項目		2017(H29) 年度	2018(H30) 年度	2019(R1) 年度	2020(R2) 年度	目標値 2021(R3) 年度
1	幼保小連携に取り組んでいる学区数	3学区	4学区	9学区	18学区	35学区

(項目説明)

アプローチカリキュラム※やスタートカリキュラム※などに基づいて、幼保小連携に取り組んでいる小学校の学区数

それまでの達成状況や見込みを考慮して、2021(R3)年度の目標値を、計画当初の5学区から35学区に変更（2020(R2)年度）

[今後のアクション]

小学校と就学前の保育所・幼稚園・こども園等が公私立を問わず連携し、「資質・能力」の育成の観点から接続期のカリキュラムの評価・改善が行われるよう、教育委員会と保育指導課が連携して研修の実施や情報提供を行う。

主な取組	生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実																						
取組内容	① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容 ② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携																						
概要等	課題		今後の方針																				
① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容																							
<p>○コロナ禍の中でも安心して生活できる保育環境を整えることを最優先にしつつ、すべての幼稚園・保育所等が、「福山市教育・保育カリキュラム」に基づき、園・所の実態を踏まえ、教育・保育を行った。</p> <p>○幼児の主体的な学びを育むための保育環境の工夫や援助について、保育所等と幼稚園の合同研修や相互訪問等を計画していたが、コロナ禍で実施することができなかった。</p>	<p>○「福山市教育・保育カリキュラム」の意図や内容について、理解や実践を深めていく必要がある。</p> <p>○子どもの主体的な学びを育むための保育環境の工夫や職員の援助について、各園・所の職員が学びあい、連続性のある教育・保育内容の充実を図る必要がある。</p>		<p>○引き続き、「福山市教育・保育カリキュラム」に基づいた教育・保育を行うとともに、実践の検証をしていく。</p> <p>○研修等で実践の成果を共有することで、幼稚園・保育所等の教育・保育内容の充実を図る。</p> <p>○市立幼稚園・保育所の交流等を行い、職員の専門性を高める。</p>																				
② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携																							
<p>○幼保小連携・接続教育の合同研修会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催することができなかった。</p> <p>○就学前施設と小学校児童の交流活動や教職員同士の研修会も縮小せざるを得なかった。</p> <p>○小学校の初任者約80名が市内の公立幼稚園4園に分かれて保育観察を基に研修を行い、就学前教育についての理解を深めた。</p>	<p>○合同研修会は、人数が多くなるので、コロナ禍でもできる就学前施設と小学校との合同研修会の方法を考える必要がある。</p>		<p>○幼児期の教育と小学校教育の学びをつなぐために、各校で作成しているスタートカリキュラムを学区の就学前施設と連携しながら、評価・改善していく必要がある。</p>																				
実績数値																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">区分</th> <th style="width: 10%;">2016</th> <th style="width: 10%;">2017</th> <th style="width: 10%;">2018</th> <th style="width: 10%;">2019</th> <th style="width: 10%;">2020</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立・法人立保育施設合同研修会 回数</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">0 (※)</td> </tr> <tr> <td>公立幼稚園・保育所等合同研修会 回数</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </tbody> </table>						区分	2016	2017	2018	2019	2020	公立・法人立保育施設合同研修会 回数	7	6	8	6	0 (※)	公立幼稚園・保育所等合同研修会 回数	20	18	15	14	10
区分	2016	2017	2018	2019	2020																		
公立・法人立保育施設合同研修会 回数	7	6	8	6	0 (※)																		
公立幼稚園・保育所等合同研修会 回数	20	18	15	14	10																		
<p>※2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集しての研修実施が難しいことから資料配布や情報提供を行った。</p>																							

主な取組	認定こども園の整備				
概要等	課題			今後の方針	
伊勢丘こども園の整備					
<p>○開園1年目の運営がスムーズに行えるよう、定期的に指導・支援を行った。</p> <p>○2018年（平成30年）に開園した大学附属こども園と伊勢丘こども園の交流会を年2回行った。</p>		<p>○研究園の大学附属こども園は、研究公開研究会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。研究の成果を広げていく。</p>		<p>○研究園としての位置付けである大学附属こども園の成果を基に、実践拠点園の教育・保育を充実させ、実践拠点園として、研究園の成果を活かし、地域の実態に合った教育・保育の実践をしていく。</p>	
実績数値					
【こども園の整備状況】					
区分	2016	2017	2018	2019	2020
附属こども園	工事設計 園舎整備 地下構造物解体工事	園舎整備 備品等購入	4月開園	/	
伊勢丘こども園	/	工事設計 地下構造物撤去工事	園舎設計		



幼保小連携の様子
(5歳児と5年生との交流活動)



伊勢丘こども園